巨木発見

（大木・巨木めぐり）

平成 24 年 7 月 8 日
NPO 四季の森里山研究会
森本正信・伊藤恭造・林紀夫・宮下修一

１．巨木とは

巨木（巨樹）との出会い。そこには圧倒される不思議な力が感じられます。時の流れ、人との係り、風雪に耐えた姿。それが巨木では？巨木の対象は、地上から 130 cmの高さで、幹周が 300 cm以上の木。株立ち（幹が複数）は、一番太い幹（主幹）の幹周が 200 cm以上で、それぞれの幹周の合計が 300 cm以上ある場合（環境庁が 1988 年に定めた）。1988 年に全国で初めて「巨樹・巨木林調査」。2000 年にその後の調査、全国で約 65,000 本の巨木が確認されている。　（参考：奥多摩森林館「巨樹・巨木データベース」）

２．四季の森公園の巨木・大木調査

・2011 年 1 月 23 日に四季の森公園で、園路から見える巨木・大木 110 本を対象に調査。

・巨木は、ヤマザクラ、ケヤキ、ウワミズザクラ、コナラ、イヌシデ、ホウノキなど。単木（1 本の幹）では、ムクノキ、シラカシ、モミノキ、スギ、クスノキ、ヒノキなど。

（本日の大木①②③・巨木④めぐり）

① スギ（幹周 200 cm、スギ単木で 1 位）

② ムクノキ（幹周 283 cm、ムクノキ単木で 1 位）

③ シラカシ（幹周 240 cm、シラカシ単木で 1 位）

④ ヤマザクラ（総幹周 1001 cm、四季の森公園で 1 位、ヤマザクラでは全日本クラスの巨木）

（ヤマザクラの巨木：全国 1 位は幹周 995 cm、愛知県宝飯郡一宮町、神奈川県 1 位は幹周 465 cm、神奈川県南足柄郡）

３．巨木の話あれこれ

１）神奈川県の巨木：1 位が明神の楠で、幹周 15.6m、樹高 15m、樹齢 800 年以上。2 位が中川の箒杉で、幹周 12m、樹高 45m、推定樹齢 2,000 年。3 位が妻田のクスノキ、幹周 10.5m、樹高 26m、樹齢 500 年。

２）日本の巨木：1 位が蒲生の大楠（鹿児島県）で、幹周 24.2m、樹高 30m、伝承樹齢 1,500 年（3,000 年とも）。日本最大の巨木。2 位が阿豆佐和気神社の大クス（来宮神社の大クス）（静岡県）で、幹周 23.9m、樹高 20m、伝承樹齢 2,000 年とも。3 位が北金ケ沢のイチョウ（青森県）で、幹周 22m、樹高 40m、樹齢 1000 年。

３）世界でNo.１：背が世界一高い巨木は、アメリカ西海岸にあるレッドウッドで樹高が 111.4m、樹齢 2000 年とも。太さが世界一の巨木は、南アフリカのジンバブエ国境近にあるバオバブで、幹周りが 45.1m。世界一長寿は、アメリカのカリフォルニア州にあるブリッスルコーン・パイン、メスーゼラ。なんと樹齢 4,768 年。

地球上で残っている巨樹たちは、我々の星をもう一度緑の惑星に変えなければならないことを伝えるために立ち続けている。（地球遺産最後の巨樹；講談社より）

（本日はご苦労様でした。次回は８月 12 日（日）１３時より自然観察会を行います。）